



2022年5月23日

Cboe ジャパン株式会社
代表取締役社長 色川 徹

SOR システム障害について

グローバル取引所グループである Cboe Global Markets の一員である当社は、日本株取引の 4%程度を取扱う PTS を運営すると共に、複数の取引施設に自動的に注文回送するシステム（以下、「SOR システム」）の開発・運営（以下、SOR サービス）を 2017 年から行っており、複数の証券会社様にご利用いただいております。

この度、5/11(水)から複数回にわたって SOR システムが障害を起こし、SOR サービス利用者が取扱う一部の注文の執行に不具合を生じさせる結果となりました。SOR サービスご利用の証券会社様、そしてそのお客様に多大なご迷惑をおかけしたこと心よりお詫び申し上げます。

一連の状況に関する社内調査の結果、本障害の原因は 5/9(月)に行った SOR システムの更改によりバージョンアップされたソフトウェアの一部の不具合にあることが分かりました。具体的には、寄り付き直後にデータ処理を取り扱うソフトウェアが不具合を起こし、これが周辺ソフトウェアの一部機能の応答速度に遅延を生じさせ、結果的にご利用証券会社様が取扱う一部の注文の執行に影響を及ぼしました。

初回の障害時に講じた対応策にも関わらずさらに障害が発生したことを受けて、5/19(木)からは、抜本的対応として SOR システムをバージョンアップ前の状態に戻し、その後は正常に稼働しております。今後 SOR システムをどのタイミングでバージョンアップするかは、ソフトウェアの不具合についての原因究明をしっかりと行うと共に必要な再発防止策を講じた上で、ご利用証券会社様と慎重に協議を重ね決定していく所存です。

折しも、5/18(水)に、最良執行方針等に関する「金融商品取引法施行令の一部を改正する政令」が公布されましたが、個人投資家の方々にとって常に最良の価格で取引ができること、そして多くの証券会社様にとって今後最良執行の実現に向けた SOR システムの導入と安定的な運用がより一層重要になることは言うまでもありません。SOR サービスを提供する者としては、より多くの利用者にとって満足度の高いサービスを安定的に提供すべく、また、障害時の速やかな対応体制を更に整備して、今回の障害を教訓として、気を引き締めて体制強化に努めて参る所存です。